

2021 年度 女子ラクロス部 メンバーインタビュー

部員数

20人以下

主な成績

所属学群

体育専門学群, 社会・国際学群, 人間学群, 生命環境学群, 理工学群, 医学群

関東学生ラクロス特別大会2020 全勝

2019年度関東学生ラクロスリーグ戦3部 ブロック2位

練習場所

多目的グラウンド、筑波大学セキショウフィールド

板倉加奈（工学システム4年/主将）

下地梨温（心理2年）

— 私が目指す「ラクロス」

板倉

人数が少なく個性が強い人が多いチームであると思うので、それぞれの強みなどの個性を上手く出して、組織として強いチーム、このチームで良かったなと思えるようなチームになればいいなと思ってます。

また、その組織力が結果に繋がるように、強いチームでありたいと思っています。



下地

ラクロスにはポジションに「攻め」と「守り」、二つがあります。中にはどちらかを極める人がいますが、私はそのどちらも同じくらいの熱量を持って、最大限頑張りたいなっているのが目標です。

— 筑波大学をどう思っていた？

板倉

高3の時に宇宙工学を学びたいと思い、宇宙と言ったら「JAXAもあるし筑波か！」という安易な考えですけど、宇宙と言えば筑波というイメージでした(笑)
また、人が多いのが苦手で、田舎の方に行きたいなと思い、筑波大学を選びました。

下地

私は心理学を国立で学べるところを探していました。そうしたら筑波大学があり、とても高いレベルで心理学が学べることと、自然がたくさんあるというところに惹かれて選びました。

— 今のチームで学んだこと、チームの好きなところ

板倉

このチームは人数が少なく、組織の運営を全て学生がやっているの、組織をまとめる難しさだったり、人に何かを伝える難しさっていうのはチームに入ってからたくさん考えるようになったので、このチームにいてとても学べました。
チーム運営を自分たちでしているからこそ、なおさらチームスポーツの楽しさはすごく感じています。

下地

チームの好きなところは、一人一人が教える立場でありながら教えられる立場で、自分だけのことじゃなく、周りの成長も考えられて、強くなっていけるような今のチームが好きです。



— これからの目標（直近の目標、人生の目標）

板倉

二部に昇格するという目標は、今まで先輩達も代々掲げてきたのですが、叶わなかった目標ですので、今年こそ達成したいと思っています。

個人としては、怪我の影響で今年のリーグが最初で最後の試合になるので、最高学年としてチームを引っ張りつつ、絶対に最後までグラウンドに立ち続けるというのが、最後の目標として掲げているものです。

人生の目標は、自分の手で自分なりの幸せを掴むことです。

下地

チームとしては、他の私立大学に比べるとやっぱり人数が本当に少ないですが、その状態でも勝てるということをこの4年間を通して達成したいと思っています。

人生の目標は、成長し続けることです。

— 未来のチームメイトに一言

板倉

大学4年間は人生においてとても大事な4年間になると思います。その4年間で全力で楽しんで、何かに全力投球できるっていうのはすごく良い経験になると思います！皆さんにとって、全力で楽しめるものがラクロスであったらすごく嬉しいなと思っています！

下地

このページを読んでくれてありがとうございます。

ラクロスは本当に楽しく、筑波大ラクロス部は本当に、どこよりも成長できる場所だと思うのでぜひ来てみてください。

